

社会福祉学科 1年 前期 専門科目

1. 心理学と心理的支援
2. 社会学と社会システム
3. ソーシャルワークの基盤と専門職 I
4. 障害者福祉
5. ソーシャルワーク演習 I
6. 介護の基本 I
7. コミュニケーション技術 I
8. 生活支援技術 I
9. 高齢者福祉
10. 児童・家庭福祉

社会福祉学科

科目名: 心理学と心理的支援			担当教員 氏名: 竹ノ山 圭二郎						
単 位	開講時期(年次・期)		科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考			
2	1年次	前期	専門科目	講義	必修	社会福祉士受験資格(必修)、精神保健福祉士受験資格(必修)、介護福祉士受験資格(必修)、福祉心理士			
実務経験を用いてどのような授業を行っているか:						心理臨床の実務経験に基づき、精神障害の理解、心理アセスメントの技法、心理臨床の事例検討などについても授業展開の中に盛り込んでいる。			
授業科目の学習教育目標の概要:					キーワード				
①人の心の基本的な仕組みと機能を理解し、環境との相互作用の中で生じる心理的反応を理解する。 ②人の成長・発達段階の各期に特有な心理的課題を理解する。 ③日常生活と心の健康との関係について理解する。 ④心理学の理論を基礎としたアセスメントの方法と支援について理解できる。					ストレス、感情、認知、社会、発達、心理的支援				
授業における学修の到達目標									
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)			自己形成を進める行動目標 (福短マトリックスで示される番号)						
			1. 2. 5. 6.						
A 知識・理解力			心理学の基礎知識について理解している						
C 論理的思考力			人間の行動や心理について科学的、客観的に思考する基礎的な力を身に付けている。						
E 自己管理能力			自己について理解を深めることで自己管理能力を高める						
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする									
テスト:	%	レポート:	50 %	発表:	%	実技試験:	%	その他:	50 %
特記事項: 自発的な授業時間外学習および積極的授業参加に基づいて成績評価を行う。クリッカーを用いた双方向型授業を行います。また第15回目は、ポスターツアーによるプレゼンテーションを行います。									
アクティブラーニング要素:									
課題解決型学習 ディスカッション、ディベート <u>グループワーク</u> <u>プレゼンテーション</u> 実習、フィールドワーク									
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期: 初回時に授業の進め方および評価方法を説明します。									
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法: 主体的に学習できるように、学習到達度について毎回フィードバックします。									
授 業 計 画						準備学習(予習・復習等)			
						学習内容			学習に必要な時間(分)
①心理学とは(心理学の歴史と対象、心を探究する方法の発展)						【予習復習】心理学の学問領域		30	
②動機づけと適応						【予習復習】クエス1: 動機づけ		180	
③感情・情緒						【予習復習】クエス2: 感情		180	
④感覚・知覚・認知						【予習復習】クエス3: 感覚・知覚・認知		180	
⑤学習・行動						【予習復習】クエス4: 学習		180	
⑥記憶・知能						【予習復習】クエス5: 記憶・知能		180	
⑦性格						【予習復習】クエス6: 性格		180	
⑧対人関係と集団: 社会心理						【予習復習】クエス7: 社会心理学		180	
⑨生涯発達(発達課題と発達段階、認知・言語・愛着・道徳性の発達)						【予習復習】クエス8: 発達		180	
⑩心の健康とストレス						【予習復習】クエス9: ストレス		180	
⑪精神障害・知的障害						【予習復習】クエス10: 精神障害・知的障害		180	
⑫発達障害・認知症						【予習復習】クエス11: 発達障害・認知症		180	
⑬心理学的アセスメントと心理的支援の基本的技法						【予習復習】クエス12: 心理アセスメント		180	
⑭心理療法における介入技法の概要						【予習復習】クエス13: 心理療法		180	
⑮福祉における心理的支援と心理専門職						【予習復習】ポスレベルクエス: 福祉における心理的支援		240	
使用テキスト: 指定テキストはありません。必要な参考資料は、図書館等で自ら収集してください。						その他参考文献など: 心理学事典[平凡社]; 心理学辞典[有斐閣]; 心理学辞典[丸善]; アイゼンク教授の心理学ハンドブック[ナカニシヤ出版]			
受講上の留意点(担当者からのメッセージ): クエス型授業によるアクティブラーニングで学びます。履修学生同士が協働しながら、心理学の概要を楽しく学びます。学ぶことに喜びを感じるようになることが、この授業の第一の目標です。参加しないと損しますよ。									

社会福祉学科

科目名： 社会学と社会システム			担当教員 氏名： 中川 翔平			
単 位	開講時期(年次・期)		科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考
2	1年次	前期	専門科目	講義	必修	介護福祉士受験資格(必修) 社会福祉士受験資格(必修) 精神保健福祉士受験資格(必修) 社会福祉主事任用資格
実務経験を用いてどのような授業を行っているか:						
授業科目の学修教育目標の概要:					キーワード	
①現代社会の特性を理解する。 ②生活の多様性について理解する。 ③人と社会の関係について理解する。 ④社会問題とその背景について理解する。					社会学、現代社会、行為と共同性、時間・空間・近代、構造化と秩序	
授業における学修の到達目標						
学修教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)						
A 知識・理解力			私たちが生きている社会がどのように成立しているか、その概要を理解する。			
C 論理的思考力			私たちが直面している様々な社会問題について、考え、整理をし、自分なりに問題解決に向け挑戦できる。			
G 倫理観			社会にある多様な価値観に理解を深め、自分自身のスタンスを明確にして、また、他を尊重するための基礎的な土台を身に付けてる。			
成績評価の方法・基準： 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする						
テスト： 90 %		レポート： %		発表： %		実技試験： %
その他： 10 %						
特記事項： ●その他に関しては、受講に対する姿勢や講義内での発言や課題の提出状況を含め評価する。 ●本科目では、アクティブ・ラーニングの一環として講義の振り返りやグループワーク・発表を行う。						
アクティブラーニング要素： 課題解決型学修 ディスカッション、ディベート グループワーク プレゼンテーション 実習、フィールドワーク						
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期： 適宜小テストを行う。最終試験に関しては別に定めた日時に実施する。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法： 採点し、評価する。必要に応じて課題を与える。						
授 業 計 画				準備学修(予習・復習等)		
				学修内容	学修に必要な時間(分)	
①社会学の視点				【復習】配布資料から不明点を抜き出すこと	【予習】120分	【復習】120分
②社会構造と変動				【予習】資料で用語を調べること。 【復習】配布資料から不明点を抜き出すこと	【予習】120分	【復習】120分
③社会構造と変動1(社会システム、組織と集団)				【予習】資料で用語を調べること。 【復習】配布資料から不明点を抜き出すこと	【予習】120分	【復習】120分
④社会構造と変動2(人口、グローバリゼーション)				【予習】資料で用語を調べること。 【復習】配布資料から不明点を抜き出すこと	【予習】120分	【復習】120分
⑤社会構造と変動3(社会変動、地域)				【予習】資料で用語を調べること。 【復習】配布資料から不明点を抜き出すこと	【予習】120分	【復習】120分
⑥社会構造と変動4(環境)				【予習】資料で用語を調べること。 【復習】配布資料から不明点を抜き出すこと	【予習】120分	【復習】120分
⑦市民社会と公共性1(社会的格差、社会問題)				【予習】資料で用語を調べること。 【復習】配布資料から不明点を抜き出すこと	【予習】120分	【復習】120分
⑧市民社会と公共性2(差別と偏見)				【予習】資料で用語を調べること。 【復習】配布資料から不明点を抜き出すこと	【予習】120分	【復習】120分
⑨市民社会と公共性3(災害と復興)				【予習】資料で用語を調べること。 【復習】配布資料から不明点を抜き出すこと	【予習】120分	【復習】120分
⑩生活と人生1(家族とジェンダー)				【予習】資料で用語を調べること。 【復習】配布資料から不明点を抜き出すこと	【予習】120分	【復習】120分
⑪生活と人生2(健康、労働)				【予習】資料で用語を調べること。 【復習】配布資料から不明点を抜き出すこと	【予習】120分	【復習】120分
⑫生活と人生3(世代、ライフステージ、いじめ、ハラスメント、社会的孤立と孤独)				【予習】資料で用語を調べること。 【復習】配布資料から不明点を抜き出すこと	【予習】120分	【復習】120分
⑬自己と他者1(相互作用、間主観性、社会的自我)				【予習】資料で用語を調べること。 【復習】配布資料から不明点を抜き出すこと	【予習】120分	【復習】120分
⑭自己と他者2(役割取得、アイデンティティ、生涯発達)				【予習】資料で用語を調べること。 【復習】配布資料から不明点を抜き出すこと	【予習】120分	【復習】120分
⑮まとめ				【予習】テキスト・配布資料を復習	【予習】120分	【復習】120分
使用テキスト： 一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟編集「最新 社会福祉士養成講座 精神保健福祉士養成講座3 社会学と社会システム」 中央法規出版 ISBN:978-4-8058-8233-7 C3036				その他参考文献など： 長谷川公一・浜日出夫・藤村正之・町村敬志著『社会学』有斐閣、2007。		
受講上の留意点(担当者からのメッセージ)： 本講義は社会を観察する様々な視点を勉強します。そのため、専門用語や抽象的な説明も多いです。事前準備や復習、講師への質問等を意識しましょう。また、参考資料は図書館にあります。各自協力して資料を咀嚼してみましょう。						

社会福祉学科

科目名: ソーシャルワークの基盤と専門職 I			担当教員 氏名: 宮嶋 潔			
単 位	開講時期(年次・期)		科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考
2	1年次	前期	専門科目	講義	必修	介護福祉士受験資格(必修) 社会福祉士受験資格(必修) 精神保健福祉士受験資格(必修) 福祉心理士
実務経験を用いてどのような授業を行っているか: 社会福祉士、精神保健福祉士等の資格を有した教員が、相談等の実務経験を生かして授業を行う。						
授業科目の学修教育目標の概要:					キーワード	
①歴史背景を踏まえた上で総合的かつ包括的な相談援助の理論と知識を理解することができる。 ②実践現場で展開する援助技術が活用できる。 ③ソーシャルワーカーが直面する問題や課題について、複眼的論理的に分析できる。 ④ソーシャルワークの価値と倫理を元にして、当事者を支援することができる。 ⑤ソーシャルワークの倫理綱領を理解し、援助実践に反映できる。					ソーシャルワークの定義、ソーシャルワークの倫理と価値、ソーシャルワークの形成過程	
授業における学修の到達目標						
学修教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)			自己形成を進める行動目標 (福短マトリックスで示される番号) 1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8. 9. 10			
A 知識・理解力	歴史背景を踏まえた上で総合的かつ包括的な相談援助の理論と知識を理解することができる。					
B 専門的技術	実践現場で展開する援助技術が活用できる。					
C 論理的思考力	ソーシャルワーカーが直面する問題や課題について、複眼的論理的に分析できる。					
D 問題解決力	ソーシャルワークの価値と倫理を元にして、当事者を支援することができる。					
G 倫理観	ソーシャルワークの倫理綱領を理解し、援助実践に反映できる。					
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする						
テスト: 50 %	レポート: 20 %	発表: %	実技試験: %	その他: 30 %		
特記事項: その他とは授業への姿勢、態度のことである。本科目ではアクティブ・ラーニングの一環としてグループワークを行う。						
アクティブラーニング要素: 課題解決型学修 ディスカッション、ディベート <u>グループワーク</u> プレゼンテーション 実習、フィールドワーク						
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期: 講義の中間・後半にまとめと振り返りを予定している。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法: テストやレポート返却時のコメント等によってアドバイスをを行う。						
授 業 計 画			準備学修(予習・復習等)			
			学修内容	学修に必要な時間(分)		
①社会福祉士及び精神保健福祉士の法的な位置づけⅠ(社会福祉士及び介護福祉士法)			【事前】①当該ページを読む 【事後】授業の復習	【予習】120分 【復習】120分		
②社会福祉士及び精神保健福祉士の法的な位置づけⅡ(精神保健福祉士法)			【事前】②当該ページを読む 【事後】授業の復習	【予習】120分 【復習】120分		
③社会福祉士及び精神保健福祉士の法的な位置づけⅢ(社会福祉士・精神保健福祉士の専門性)			【事前】③当該ページを読む 【事後】授業の復習	【予習】120分 【復習】120分		
④ソーシャルワークの定義(グローバル定義)			【事前】④当該ページを読む 【事後】授業の復習	【予習】120分 【復習】120分		
⑤ソーシャルワークの原理Ⅰ(社会正義、人権尊重)			【事前】⑤当該ページを読む 【事後】授業の復習	【予習】120分 【復習】120分		
⑥ソーシャルワークの原理Ⅱ(集団的責任、多様性の尊重)			【事前】⑥当該ページを読む 【事後】授業の復習	【予習】120分 【復習】120分		
⑦ソーシャルワークの理念Ⅰ(当事者主権、尊厳の保持)			【事前】⑦当該ページを読む 【事後】授業の復習	【予習】120分 【復習】120分		
⑧ソーシャルワークの理念Ⅱ(権利擁護、自立支援)			【事前】⑧当該ページを読む 【事後】授業の復習	【予習】120分 【復習】120分		
⑨ソーシャルワークの理念Ⅲ(ソーシャル・インクルージョン、ノーマライゼーション)・中間まとめ			【事前】⑨当該ページを読む 【事後】授業の復習	【予習】120分 【復習】120分		
⑩ソーシャルワークの形成過程Ⅰ(慈善組織協会、セツメント運動)			【事前】⑩当該ページを読む 【事後】授業の復習	【予習】120分 【復習】120分		
⑪ソーシャルワークの形成過程Ⅱ(医学モデルから生活モデル、ソーシャルワークへの統合化)			【事前】⑪当該ページを読む 【事後】授業の復習	【予習】120分 【復習】120分		
⑫ソーシャルワークの専門職倫理Ⅰ 専門職倫理、倫理綱領、倫理的ジレンマ)			【事前】⑫当該ページを読む 【事後】授業の復習	【予習】120分 【復習】120分		
⑬事例検討(独居高齢者への支援)			【事前】⑬当該ページを読む 【事後】授業の復習	【予習】120分 【復習】120分		
⑭事例検討(児童虐待への支援)			【事前】⑭当該ページを読む 【事後】授業の復習	【予習】120分 【復習】120分		
⑮まとめ			【事前】今までの授業の復習	【予習】120分 【復習】120分		
使用テキスト: 一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟編集「最新社会福祉士養成講座 精神保健福祉士養成講座11 ソーシャルワークの基盤と専門職(共通・社会専門)」中央法規出版 ISBN:978-4-8058-8241-2 C3036			その他参考文献など: 随時紹介する。			
受講上の留意点(担当者からのメッセージ): ソーシャルワークの基本的な内容となります。予習・復習をしっかりと行ってください。						

社会福祉学科

科目名： 障害者福祉			担当教員 氏名： 鷹西 恒			
単 位	開講時期(年次・期)		科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考
2	1年次	前期	専門科目	講義	必修	介護福祉士受験資格 社会福祉士受験資格 精神保健福祉士受験資格 社会福祉士主任任用
実務経験を用いてどのような授業を行っているか：		社会福祉士等の資格を有した教員が、相談援助、自治体の各種福祉計画策定等の実務経験を生かして授業を行う				
授業科目の学修教育目標の概要： ①障害の概念と特性を踏まえ、障害者とその家族の生活とこれを取り巻く社会環境について理解する。 ②障害者福祉の歴史と障害者観の変遷、制度の発展経過について理解する。 ③障害者に対する法制度と支援の仕組みについて理解する。 ④障害による生活課題を踏まえ、社会福祉士及び介護福祉士、精神保健福祉士としての適切な支援のあり方を理解する。						キーワード エンパワメント 自立支援制度 権利擁護
授業における学修の到達目標						
学修教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)						
A 知識・理解力	利用者支援のための理論と知識を総合的に理解することができる					
B 専門的技術	利用者をアセスメントする視点等を身につけることができる					
C 論理的思考力	疾病、障害から生活レベルを想定することで支援の論理性を培うことができる					
D 問題解決力	新しい理念などを知識として活用し、問題解決に至る力を身につけることができる					
G 倫理観	差別や偏見について考えることで自己の人格的成長を図ることができる					
成績評価の方法・基準： 以下の方法により評価し、学期および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする						
テスト： 50 %	レポート： 40 %	発表： %	実技試験： %	その他： 10 %		
特記事項：その他とは出席状況、授業中の態度、課題の提出状況等による評価である						
アクティブラーニング要素： 課題解決型学修 ディスカッション、ディベート グループワーク プレゼンテーション 実習、フィールドワーク						
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期：レポート等は適時、筆記試験は後半に予定している						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法：レポート等返却時のコメント等でアドバイスを行う						
授 業 計 画						準備学修(予習・復習等)
						学修内容
①障害の概念と障害者の実態						【事前】当該ページを読む【予習】120分 【事後】授業の復習【復習】120分
②障害の概念と障害者の実態 ICIDHとICF						【事前】当該ページを読む【予習】120分 【事後】授業の復習【復習】120分
③障害者福祉の基本理念① ノーマライゼーション、リハビリテーション						【事前】当該ページを読む【予習】120分 【事後】授業の復習【復習】120分
④障害者福祉の基本理念② エンパワメント、インクルージョン						【事前】当該ページを読む【予習】120分 【事後】授業の復習【復習】120分
⑤障害者の法制度 障害者権利条約と障害者基本法						【事前】当該ページを読む【予習】120分 【事後】授業の復習【復習】120分
⑥障害者施策の発展と歴史 身体、知的、精神、発達障害等の各法						【事前】当該ページを読む【予習】120分 【事後】授業の復習【復習】120分
⑦障害者福祉のサービス体系 障害者総合支援法 概説						【事前】当該ページを読む【予習】120分 【事後】授業の復習【復習】120分
⑧障害者福祉のサービス体系 障害者総合支援法 実践、運用						【事前】当該ページを読む【予習】120分 【事後】授業の復習【復習】120分
⑨ユニバーサルデザインとバリアフリー(バリアフリー法)						【事前】当該ページを読む【予習】120分 【事後】授業の復習【復習】120分
⑩自立生活と生活ニーズ						【事前】当該ページを読む【予習】120分 【事後】授業の復習【復習】120分
⑪障害者の社会参加① ～障がい者スポーツの世界～						【事前】当該ページを読む【予習】120分 【事後】授業の復習【復習】120分
⑫障害者の社会参加② ～就労支援、法制度～						【事前】当該ページを読む【予習】120分 【事後】授業の復習【復習】120分
⑬差別と偏見 (障害者差別解消法と障害者虐待防止法含)						【事前】当該ページを読む【予習】120分 【事後】授業の復習【復習】120分
⑭障害者と家族等に対する支援の実際(他職種との連携、関連サービスの理解)						【事前】当該ページを読む【予習】120分 【事後】授業の復習【復習】120分
⑮まとめ						【事前】当該ページを読む【予習】120分 【事後】授業の復習【復習】120分
使用テキスト：最新社会福祉士養成講座精神保健福祉士養成講座8障害者福祉(中央法規)ISBN97-4-8058-8238-2				その他参考文献など： 「厚生労働白書」「障害者白書」等		
受講上の留意点(担当者からのメッセージ)：事前・事後学習において、テキストだけでなく、国の指標や各種データ等にも目を通してください。 Google ClassroomやGoogle Formsを連絡や評価に使用します。						

社会福祉学科

科目名: ソーシャルワーク演習 I				担当教員 氏名: 宮嶋 潔、松尾 祐子					
単 位	開講時期(年次・期)		科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考			
1	1年次	前期	専門科目	講義	必修	介護福祉士受験資格(必修) 社会福祉士受験資格(必修) 精神保健福祉士受験資格(必修)			
実務経験を用いてどのような授業を行っているか: ソーシャルワーカーとしての実務経験を活かして、福祉現場の実状にそった事例などを用いて支援方法を体験的に学ぶ授業を行っている。									
授業科目の学習教育目標の概要:						キーワード			
他の科目との関連性を踏まえ、ソーシャルワーカーに求められる基礎的な能力とコミュニケーション能力を養う。また、価値規範と倫理を実践的に学び、ソーシャルワークの展開過程に用いられる知識と技術を理解する。						価値規範・倫理、コミュニケーション技術、自己覚知、面接技術、ソーシャルワークの展開過程、アセスメント			
授業における学修の到達目標									
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)			自己形成を進める行動目標 (福短マトリックスで示される番号)		1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8. 9. 10				
A 知識・理解力			ソーシャルワークに必要な知識と技術を理解する。						
C 論理的思考力			当事者が直面する問題を複眼的論理的に分析できる。						
E 自己管理能力			常に自らを律して、他者とコミュニケーションができる。						
G 倫理観			ソーシャルワークの価値規範と倫理を実践的に理解できる。						
H コミュニケーション力			ソーシャルワークの実践に必要なコミュニケーション能力を養う。						
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする									
テスト:	%	レポート:	40 %	発表:	50 %	実技試験:	%	その他:	10 %
特記事項: 演習への参加姿勢(ロールプレイを含む)、レポートなどで総合的に評価し、その他とは授業態度・姿勢のことである。アクティブ・ラーニングの一環として、グループディスカッション・ディベートを行う。									
アクティブラーニング要素: 課題解決型学習 <u>ディスカッション</u> 、ディベート <u>グループワーク</u> <u>プレゼンテーション</u> 実習、フィールドワーク									
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期: 授業の中で適時案内する。									
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法: レポートはコメントと評価をつけて返却する。									
授 業 計 画				準備学習(予習・復習等)					
				学習内容	学習に必要な時間(分)				
①オリエンテーション				【予習・復習】レポート作成	【予習】60分 【復習】60分				
②自己覚知(自己理解)				【予習・復習】レポート作成	【予習】60分 【復習】60分				
③他者理解				【予習・復習】レポート作成	【予習】60分 【復習】60分				
④基本的なコミュニケーション技術(言語的技術)				【予習・復習】レポート作成	【予習】60分 【復習】60分				
⑤基本的なコミュニケーション技術(非言語技術)				【予習・復習】レポート作成	【予習】60分 【復習】60分				
⑥基本的な面談技術(1)				【予習・復習】レポート作成	【予習】60分 【復習】60分				
⑦基本的な面談技術(2)				【予習・復習】レポート作成	【予習】60分 【復習】60分				
⑧ソーシャルワークの展開過程(ケースの発見・インテーク)				【予習・復習】レポート作成	【予習】60分 【復習】60分				
⑨ソーシャルワークの展開過程(アセスメント)				【予習・復習】レポート作成	【予習】60分 【復習】60分				
⑩ソーシャルワークの展開過程(プランニング)				【予習・復習】レポート作成	【予習】60分 【復習】60分				
⑪ソーシャルワークの展開過程(モニタリング・アフターケア)				【予習・復習】レポート作成	【予習】60分 【復習】60分				
⑫ソーシャルワークの記録				【予習・復習】レポート作成	【予習】60分 【復習】60分				
⑬グループダイナミックスの活用				【予習・復習】レポート作成	【予習】60分 【復習】60分				
⑭プレゼンテーション技術				【予習・復習】レポート作成	【予習】60分 【復習】60分				
⑮授業のまとめと振り返り				【予習・復習】レポート作成	【予習】60分 【復習】60分				
使用テキスト: 最新社会福祉士精神保健福祉士養成講座 13ソーシャルワーク演習 中央法規 978-4-8058-8243-6				その他参考文献など: 川村隆彦著「価値と倫理を根底に置いたソーシャルワーク」中央法規					
受講上の留意点(担当者からのメッセージ): 演習なので、受講生は主体的、積極的に取り組むこと。									

社会福祉学科

科目名: 介護の基本 I			担当教員 氏名: 長井 賢希			
単 位	開講時期(年次・期)		科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考
4	1年次	前期	専門科目	講義	必修	介護福祉士受験資格(必修)
実務経験を用いてどのような授業を行っているか:			高齢者施設介護の経験、生活相談員の経験から介護を必要とする人の尊厳を守るための支援やかかわりを重視した授業内容とします。			
授業科目の学修教育目標の概要:					キーワード	
介護に関する歴史を理解し、介護の目的や介護福祉士の定義、福祉専門職の役割、介護福祉士の役割や機能について理解する。また、生活や生活障害の理解、生活の流れを捉え、その人らしい生活支援への視点についての基礎知識を習得する。					福祉の理念・役割と機能・福祉従事者・介護福祉士	
授業における学修の到達目標						
学修教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)			自己形成を進める行動目標 (福短マトリックスで示される番号)		2、4、5、6	
A 知識・理解力			福祉専門職・介護福祉士の役割や専門性を理解することができる			
C 論理的思考力			利用者主体の支援を常に考えることができる能力を養う			
G 倫理観			利用者の尊厳を遵守できる			
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする						
テスト: 50 %	レポート: %	発表: %	実技試験: %	その他: 50 %		
特記事項:その他とは、授業の中で記入を求める個人の学びや感想、演習のためのシートです。また、アクティブラーニングの視点によりグループワーク(グループ討議)を取り入れます。						
アクティブラーニング要素:						
課題解決型学修		ディスカッション、ディベート		グループワーク		プレゼンテーション 実習、フィールドワーク
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期:第15回目に中間評価のためのシートを配布します。第29回目に最終評価のためのテストについて説明します。第30回目に最終評価試験を実施します。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法:最終評価のための筆記テストと授業中に配布し記入を求めたシートにて採点・評価をします。授業中に配布、記入を求めたシートについては都度コメントを記入し返却します。						
使用テキスト:最新「介護福祉士養成講座3「介護の基本I」第2版 中央法規出版介護福祉士養成講座編集委員会 ISBN978-4-8058-8392-1				その他参考文献など:「手をつないで見上げた空は」 藤川幸之助著 ポプラ社		
受講上の留意点(担当者からのメッセージ):グループワークの際は積極的に意見交換を行ってください。						
授 業 計 画				準備学修(予習・復習等)		
				学修内容		学修に必要な時間(分)
回数						
1	介護福祉とは			テキスト第1章第1節を読む		【予習】30分 【復習】30分
2	介護を取り巻く状況			テキスト第1章第1節を読む		【予習】30分 【復習】30分
3	介護を必要とする人とは			テキスト第1章第3節を読む		【予習】30分 【復習】30分
4	介護を必要とする人の生活			テキスト第1章第3節を読む		【予習】30分 【復習】30分
5	介護の歴史			テキスト第1章第2節を読む		【予習】30分 【復習】30分

※前ページよりつづき 社会福祉学科

科目名: 介護の基本 I		担当教員 氏名: 長井 賢希	
授 業 計 画		準備学修(予習・復習等)	
		学修内容	学修に必要な時間(分)
6	福祉・介護の理念	配布資料を読む・振り返る	【予習】30分 【復習】30分
7	介護とは	配布資料を読む・振り返る	【予習】30分 【復習】30分
8	介護の歴史から考える求められる介護	配布資料を読む・振り返る	【予習】30分 【予習】30分 【復習】30分
9	介護の歴史から考える求められる介護 映像学習	配布資料を読む・振り返る	【予習】30分 【復習】30分
10	福祉専門職についての理解	配布資料を読む・振り返る	【予習】30分 【予習】30分 【復習】30分
11	介護福祉士の役割	テキスト第2章第1節を読む	【予習】30分 【復習】30分
12	社会福祉士及び介護福祉士法	配布資料を読む・振り返る	【予習】30分 【復習】30分
13	介護福祉士との活動	テキスト第2章第2節を読む	【予習】30分 【復習】30分
14	介護福祉士の活動の場	テキスト第2章第2節を読む	【予習】30分 【復習】30分
15	介護福祉士の役割	テキスト第2章第3節を読む	【予習】30分 【復習】30分
16	介護福祉士の養成	テキスト第2章第2節を読む	【予習】30分 【復習】30分
17	職能団体についての理解	テキスト3章第4節を読む	【予習】30分 【復習】30分
18	福祉の倫理	テキスト第3章第1節を読む	【予習】30分 【復習】30分
19	介護の倫理	テキスト第3章第2節を読む	【予習】30分 【復習】30分
20	介護福祉士会の倫理綱領の理解1 自立	テキスト第3章第2節を読む	【予習】30分 【復習】30分
21	介護福祉士会の倫理綱領の理解2 プライバシー	配布資料を読む・振り返る	【予習】30分 【復習】30分
22	介護福祉士会の倫理綱領の理解3 連携	配布資料を読む・振り返る	【予習】30分 【復習】30分
23	介護福祉士会の倫理綱領の理解4 ニーズの代弁	配布資料を読む・振り返る	【予習】30分 【復習】30分
24	介護福祉士会の役割・活動1	配布資料を読む・振り返る	【予習】30分 【復習】30分
25	介護福祉士会の役割・活動2 協力・連携の事例	配布資料を読む・振り返る	【予習】30分 【復習】30分
26	利用者本位	配布資料を読む・振り返る	【予習】30分 【復習】30分
27	事例から考える利用者本位	配布資料を読む・振り返る	【予習】30分 【復習】30分
28	事例から考える利用者本位	配布資料を読む・振り返る	【予習】30分 【復習】30分
29	介護や福祉に対する概念を持つということ	配布資料を読む・振り返る	【予習】30分 【復習】30分
30	介護や福祉に対する概念を持つということ 演習	配布資料を読む・振り返る	【予習】30分 【復習】30分

科目名： コミュニケーション技術Ⅰ				担当教員 氏名： 宮嶋 潔・松尾 祐子		
単位	開講時期（年次・期）	科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考	
1	1年次	前期	専門科目	演習	必修	介護福祉士受験資格（必修）
実務経験を用いてどのような授業を行っているか： 社会福祉士としての実務経験を踏まえてコミュニケーション技術の実際について授業を行う。						
授業科目の学習教育目標の概要：					キーワード	
①信頼関係の構築に必要な共感的な理解と意思決定支援が理解できる。 ②コミュニケーションの実際に必要な技術を習得することができる。 ③共感的理解と意思決定支援のためのコミュニケーションを理解することができる。 ④コミュニケーションの基本的な技術を習得することができる。 ⑤集団におけるコミュニケーションの意義を理解することができる。					信頼関係、受容と共感、コミュニケーション技術	
授業における学修の到達目標						
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)			自己形成を進める行動目標 (福短マトリックスで示される番号)		2. 5. 6.	
A 知識・理解力	支援を要する人への基本的なコミュニケーションの知識について理解することができる。					
B 専門的技術	支援を要する人への基本的なコミュニケーション技術を習得する。					
C 論理的思考力	支援を要する人やその家族等に対する適切なコミュニケーションを組み立てることができる。					
H コミュニケーション力	支援を要する人の心身の状態に応じたコミュニケーションの実践力を身につける。					
成績評価の方法・基準： 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする						
テスト： 70 %	レポート： %	発表： %	実技試験： %	その他： 30 %		
特記事項：「その他：30%」では、授業態度について評価する。また、本科目はアクティブラーニングの一環として、ディスカッションやグループワークを活用する。						
アクティブラーニング要素： 課題解決型学習 <u>ディスカッション、ディベート</u> <u>グループワーク</u> プレゼンテーション 実習、フィールドワーク						
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期：別に定めた日時で実施する。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法：別に定めた日時で実施するテストに評価を付けて学生に返却する。						
授 業 計 画				準備学習（予習・復習等）		
				学習内容	学習に必要な時間（分）	
①福祉（介護）におけるコミュニケーションの意義と目的				【予習】テキストの該当箇所を読む。	【予習】30分	
②福祉（介護）におけるコミュニケーションの展開過程についての理解				【復習】①の復習	【復習】30分	
③コミュニケーションの果たす役割				【予習】テキストの該当箇所を読む。	【予習】30分	
④福祉専門職（介護福祉士・社会福祉士・精神保健福祉士）の職務とコミュニケーション				【復習】②の復習	【復習】30分	
⑤福祉専門職（介護福祉士・社会福祉士・精神保健福祉士）のコミュニケーション支援の対象				【予習】テキストの該当箇所を読む。	【予習】30分	
⑥援助関係とコミュニケーション				【復習】③の復習	【復習】30分	
⑦援助関係を構築するための原則				【予習】テキストの該当箇所を読む。	【予習】30分	
⑧話を聴く技法				【復習】④の復習	【復習】30分	
⑨受容				【予習】テキストの該当箇所を読む。	【予習】30分	
⑩共感				【復習】⑤の復習	【復習】30分	
⑪非言語・準言語コミュニケーション				【予習】テキストの該当箇所を読む。	【予習】30分	
⑫意欲を引き出すコミュニケーション				【復習】⑥の復習	【復習】30分	
⑬意思決定を支援するためのコミュニケーション				【予習】テキストの該当箇所を読む。	【予習】30分	
⑭集団におけるコミュニケーション				【復習】⑦の復習	【復習】30分	
⑮コミュニケーションにおける距離・まとめ				【予習】テキストの該当箇所を読む。	【予習】30分	
【復習】⑧の復習				【復習】30分		
使用テキスト：最新介護福祉士養成講座 編集介護福祉士養成講座 編集会「コミュニケーション技術」第2版 中央法規 ISBN978-4-8058-8394-5				その他参考文献など：		
受講上の留意点（担当者からのメッセージ）：演習には積極的に臨んでください。その取り組みの姿勢も評価します。						

社会福祉学科

科目名: 生活支援技術 I			担当教員 氏名: 黒田 美樹・窪田 直美			
単 位	開講時期(年次・期)		科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考
2	1年次	前期	専門科目	演習	必修	介護福祉士受験資格(必修)
実務経験を用いてどのような授業を行っているか:			介護福祉士の経験から介護に必要な技術実践を演習に取り入れ、安全・安楽・快適な生活支援技術を体験し習得するよう授業を行う。			
授業科目の学修教育目標の概要:					キーワード	
生活の豊かさの観点から尊厳の保持や自立支援、本人主体の生活が継続できるようなチームアプローチについて理解し、多職種との協働による居住環境の整備に関する知識・技術を習得できる。また、根拠に基づいた環境整備・身じたく・移動に関する介護実践を行うことができる能力を養う。					自立支援 安全・安楽 コミュニケーション 清潔 福祉用具	
授業における学修の到達目標						
学修教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)						
A 知識・理解力	生活援助の基本的姿勢及び技術を理解することができる					
B 専門的技術	利用者に対する適切な生活援助技術及び態度を習得することができる					
C 論理的思考力	科学的な根拠をもとに安全・安楽な技術を実践できる					
G 倫理観	利用者の尊厳を遵守した生活支援技術が展開できる					
H コミュニケーション力	自立支援や利用者主体の技術を行うためのコミュニケーション能力を養うことができる					
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする						
テスト: 40 %	レポート: %	発表: %	実技試験: 40 %	その他: 20 %		
特記事項: 授業態度や取り組みの姿勢も評価時に参考とします。尚、アクティブラーニングの一環としてグループや発表を取り入れます						
アクティブラーニング要素:						
課題解決型学修 ディスカッション、ディベート <u>グループワーク</u> <u>プレゼンテーション</u> 実習、フィールドワーク						
テスト・レポート・発表・実技試験の実施時期: 27回・29回目に事例演習を実施します。30回目に振り返りをします。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法: 筆記試験・実技試験共に結果を全体及び必要に応じて個人にフィードバックします。						
使用テキスト: ①最新・介護福祉士養成講座 介護福祉士養成講座編集委員会編集 中央法規出版【第2版】「生活支援技術 I」ISBN978-4-8058-8395-2 ②最新・介護福祉士養成講座 介護福祉士養成講座編集委員会編集 中央法規出版【第2版】「生活支援技術 II」ISBN978-4-8058-8396-9 中央法規出版				その他参考文献など: 「図解 介護福祉士実技試験完全マスター」誠文堂新光社		
受講上の留意点(担当者からのメッセージ): 相手の気持ちを知る、感じれる力が大切です。実技を通して思ったことや気づいたことを大切にしましょう。積極的に実技を実践し記録をしていきましょう。						
授 業 計 画				準備学修(予習・復習等)		
				学修内容		学修に必要な 時間(分)
回数						
1	オリエンテーション(目的や留意点・授業の展開方法・評価) ICFの視点を生活支援に活かすことの意義 その人らしさとは			テキスト I 〈生活支援の概要の基本的な考えを読む〉		【予習】30分 【復習】30分
2	自立に向けた居住環境の整備 ・ 住まいの役割と機能 ・ 快適な室内環境とは ・ 介護実習室の使用方法			配布資料を復習する		【予習】30分 【復習】30分
3	休息・睡眠の介護 休息・睡眠の効果 ・ 安眠を阻害する要因			テキスト II 第5章を読む		【予習】30分 【復習】30分
4	休息・睡眠の介護 睡眠環境を整える 特殊寝台と付属品の理解 (基本編)ベッドメイキング			配布資料を復習する 寝具やベッド周辺の清潔を考える		【予習】30分 【復習】30分
5	休息・睡眠の介護 快適な室内環境 (基本編)ベッドメイキング			適切な室温・湿度・光・音についてまとめる 小テストの実施		【予習】30分 【復習】30分

※前ページよりつづき

社会福祉学科

科目名: 生活支援技術 I		担当教員 氏名: 黒田 美樹・窪田 直美	
授 業 計 画		準備学修(予習・復習等)	
		学修内容	学修に必要な時間(分)
6	休息・睡眠の介護 〈応用編〉ベッドメイキング	ベッドメイキングのポイントとまとめの小テスト	【予習】30分 【復習】30分
7	自立に向けた移動の介護 移動の意義と目的・麻痺に関する基礎知識・体位変換 姿勢の保持(ポジショニング)	テキストⅠ第3章と配布資料を読む(麻痺のある利用者の体位変換を考える)小テスト	【予習】30分 【復習】30分
8	自立に向けた移動の介護 移動の意義と目的・麻痺に関する基礎知識・体位変換 姿勢の保持(ポジショニング)	テキストⅠ第3章と配布資料を読む(褥瘡予防)褥瘡予防のポイントをまとめる小テスト	【予習】30分 【復習】30分
9	自立に向けた移動の介護 自立した移動介護の視点・ボディメカニクスの原理と応用	テキストⅠ第3章と配布資料を読む(ボディメカニクスの原理)ボディメカニクスのポイントをまとめる小テスト	【予習】30分 【復習】30分
10	自立に向けた身じたくの介護 自立に向けた身じたくの視点 整髪の手入れ 爪や皮膚の手入れ 点眼・口腔の清潔	テキストⅡ第1章と配布資料を読む(身じたくの一連の流れをまとめる)	【予習】30分 【復習】30分
11	自立に向けた移動の介護 車いすの基本構造 車いすの基本的な使い方 移動・移乗の介護の基本となる知識と技術	テキストⅠ第3章と配布資料を読む(車いすに座るときの姿勢)車いすに座るときの姿勢のポイントをまとめる小テスト	【予習】30分 【復習】30分
12	自立に向けた移動の介護 移動・移乗の介護の基本となる知識と技術(片麻痺の利用者の移乗介助)	テキストⅠ第3章と配布資料を読む(身体状況に合わせた介助をまとめる)	【予習】30分 【復習】30分
13	自立に向けた移動の介護 移動・移乗の介護の基本となる知識と技術(片麻痺の利用者の移乗介助)	テキストⅠ第3章と配布資料を読む(身体状況に合わせた介助をまとめる)	【予習】30分 【復習】30分
14	自立に向けた移動の介護 全般に介助が必要な利用者への車いすへの移乗介助	テキストⅠ第3章と配布資料を読む(身体状況に合わせた介助をまとめる)	【予習】30分 【復習】30分
15	自立に向けた移動の介護 歩行の介助・支援方法(杖歩行)	テキストⅠ第3章と配布資料を読む(身体状況に合わせた介助をまとめる)小テスト	【予習】30分 【復習】30分
16	自立に向けた移動の介護 歩行の介助・支援方法(杖歩行)	テキストⅠ第3章と配布資料を読む(3動作歩行について考える)	【予習】30分 【復習】30分
17	自立に向けた移動の介護 〈基本編〉車いすの移動介助	テキストⅠ第3章と配布資料を読む(車いすの移動介助のポイントを理解する)小テスト	【予習】30分 【復習】30分
18	自立に向けた移動の介護 〈基本編〉車いすの移動介助	テキストⅠ第3章と配布資料を読む(車いすの移動介助のポイントを理解する)小テスト	【予習】30分 【復習】30分
19	自立に向けた移動の介護 〈応用編〉車いすの移動介助 外出援助	テキストⅠ第3章と配布資料を読む(移動する場所に合わせた介助を考える)	【予習】30分 【復習】30分
20	自立に向けた移動の介護 〈応用編〉車いすの移動介助 外出援助	テキストⅠ第3章と配布資料を読む(移動する場所に合わせた介助を考える)小テスト	【予習】30分 【復習】30分
21	自立に向けた身じたくの介護 衣服のもつ役割 更衣の介助 更衣介助の意義・目的	テキストⅡ第1章と配布資料を読む(更衣の目的を理解する)小テスト	【予習】30分 【復習】30分
22	自立にむけた身じたくの介護 更衣介助(座位での更衣介助)	テキストⅡ第1章と配布資料を読む(麻痺のある利用者の更衣介助の理解)小テスト	【予習】30分 【復習】30分
23	自立にむけた身じたくの介護 〈基礎編〉臥位での更衣介助	テキストⅡ第1章と配布資料を読む(麻痺のある利用者の脱健着患の原則の理解)小テスト	【予習】30分 【復習】30分
24	自立にむけた身じたくの介護 〈応用編〉臥位での更衣介助	テキストⅡ第1章と配布資料を読む(全般にわたり介助が必要な場合のポイントをまとめる)	【予習】30分 【復習】30分
25	事例演習の説明	配布資料を読む 課題を正しく理解する 課題練習	【予習】30分 【復習】30分
26	事例演習	配布資料を読む 課題を正しく理解する 課題練習	【予習】30分 【復習】30分
27	実技試験:演習のまとめ	配布資料を読む 課題をより具体的に理解する	【予習】30分 【復習】30分
28	実技試験の振り返りとまとめ	配布資料を読む 課題の振り返りと自己分析	【予習】30分 【復習】30分
29	筆記試験・学習のまとめ	配布資料を読む 課題をより具体的に理解する	【予習】30分 【復習】30分
30	生活支援技術Ⅰの学習のまとめ	配布資料を読む 課題の振り返りとまとめ	【予習】30分 【復習】30分

社会福祉学科

科目名: 高齢者福祉			担当教員 氏名: 中村尚紀			
単 位	開講時期(年次・期)		科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考
2	1年次	前期	専門科目	講義	必修	社会福祉士受験資格(必須) 介護福祉士受験資格(必須) 社会福祉主事任用資格
実務経験を用いてどのような授業を行っているか			介護支援専門員・社会福祉士・精神保健福祉士・認知症専門棟相談員の実務経験を活かして、高齢者支援の実際や専門職との連携について教える内容を含める。			
授業科目の学習教育目標の概要:					キーワード	
高齢者の生活を取り巻く社会環境や高齢者福祉の歴史や制度を理解する。また高齢者の生活課題を踏まえて、社会福祉士としての支援のあり方を理解する。					高齢者の特性、社会環境、高齢者福祉の歴史、法制度、介護保険制度、支援	
授業における学修の到達目標						
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)			自己形成を進める行動目標 (短マトリックスで示される番号)		1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8. 9. 10	
A 知識・理解力			高齢者を取り巻く社会環境や福祉の歴史、法制度を理解する。			
B 専門的技術			高齢者支援に関連する機関や専門職の役割を理解する。			
C 論理的思考力			高齢者に対する法制度の現状を理解し課題を考えることができる。			
D 問題解決力			高齢者の生活課題を踏まえ解決策を考えることができる。			
G 倫理観			高齢者とその家族の支援に必要な倫理を理解する。			
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする						
テスト: 50 %		レポート: 30 %		発表: 10 %		実技試験: % その他: 10 %
特記事項: その他として、授業に対する参加度や態度を含む。 アクティブラーニングの一環としてグループワークや発表を行う。						
アクティブラーニング要素: 課題解決型学習 <u>ディスカッション</u> 、ディベート <u>グループワーク</u> プレゼンテーション 実習、フィールドワーク						
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期: 期末テストを行う。(レポートの場合あり) 毎回授業の感想						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法: レポートはコメントをつけて返却する。						
授 業 計 画				準備学習(予習・復習等)		
				学習内容	学習に必要な時間(分)	
①オリエンテーション、高齢者の定義と特性				【予習】第1章を読む 【復習】第1章のまとめ	【予習】120分 【復習】120分	
②高齢者の生活実態				【予習】第2章を読む 【復習】生活実態をまとめる	【予習】120分 【復習】120分	
③高齢者を取り巻く社会環境				【予習】第2章を読む 【復習】社会環境をまとめる	【予習】120分 【復習】120分	
④高齢福祉の理念				【予習】2章を読む 【復習】戦前の高齢者福祉	【予習】120分 【復習】120分	
⑤高齢者観の変遷				【予習】2章を読む 【復習】戦後の高齢者福祉	【予習】120分 【復習】120分	
⑥高齢者福祉制度の発展過程				【予習】2章を読む 【復習】歴史をまとめる	【予習】120分 【復習】120分	
⑦介護保険法				【予習】4章を読む 【復習】老人福祉法	【予習】120分 【復習】120分	
⑧介護保険制度のサービス				【予習】5章を読む 【復習】介護保険法	【予習】120分 【復習】120分	
⑨老人福祉法				【予習】5章を読む 【復習】介護保険サービス	【予習】120分 【復習】120分	
⑩高齢者の医療の確保に関する法律				【予習】5章を読む 【復習】介護保険サービス	【予習】120分 【復習】120分	
⑪高齢者虐待防止法				【予習】3章を読む 【復習】生活ニーズ	【予習】120分 【復習】120分	
⑫バリアフリー法、高齢者住まい法など				【予習】3章を読む 【復習】介護の概念	【予習】120分 【復習】120分	
⑬高齢者支援における関係機関と専門職				【予習】9章を読む 【復習】介護技法	【予習】120分 【復習】120分	
⑭関連する専門職の連携				【予習】9章を読む 【復習】介護予防	【予習】120分 【復習】120分	
⑮高齢者と家族等に関する支援の実際				【予習】介護についてまとめる	【予習】120分	
使用テキスト: 最新・社会福祉士養成講座専門科目2『高齢者福祉』中央法規 ISBN: 978-4-8058-8245-0 「みんないきいき介護保険」、株式会社 社会保険出版社				その他参考文献など: 『高齢社会白書』内閣府		
受講上の留意点(担当者からのメッセージ): 配布するプリントは整理しておいてください。						

社会福祉学科						
科目名： 児童・家庭福祉				担当教員 氏名： 松尾 祐子		
単 位	開講時期(年次・期)		科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考
2	1年次	前期	専門科目	講義	選択	介護福祉士受験資格(選択) 社会福祉士受験資格(必須)
実務経験を用いてどのような授業を行っているか： 社会福祉士・精神保健福祉士の資格を有した教員が、相談援助の実務経験を活かして授業を行う。						
授業科目の学習教育目標の概要：						キーワード
①子どもが権利の主体であることを踏まえ、子どもを取り巻く社会環境を理解する。 ②子ども家庭福祉の歴史の変遷や法制度の発展過程を理解する。 ③子ども家庭福祉領域における支援の仕組みと社会福祉士の役割を理解する。 ④子どもや家庭及び妊産婦の生活課題を踏まえて、適切な支援のあり方を理解する。						子どもの権利、児童福祉法、子育て支援、社会的養護、児童虐待、ソーシャルワーク
授業における学修の到達目標						
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)			自己形成を進める行動目標 (福短マトリックスで示される番号)		1. 2. 3. 5. 7	
A 知識・理解力			子ども家庭福祉分野における総合的な知識力を高めることができる。			
B 専門的技術			子どもに関わる相談援助に必要な情報や技術を身につけることができる。			
C 論理的思考力			相談援助のプロセスを理解することで思考力を身につけることができる。			
D 問題解決力			事例を検討することで問題解決能力を高めることができる。			
G 倫理観			子どもの権利擁護について考えることで自己の人格的成長を図ることができる。			
成績評価の方法・基準： 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする						
テスト： 50 %		レポート： 40 %		発表： %	実技試験： %	その他： 10 %
特記事項： 上記の「その他」においては、授業中の態度、演習での発言、発表等で評価する。 ・本科目ではアクティブラーニングの一環として、グループワーク(事例検討等)を行う。						
アクティブラーニング要素： 課題解決型学習 ディスカッション、ディベート グループワーク プレゼンテーション 実習、フィールドワーク						
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期： 毎回の終わりに、疑問点や勉強になったこと、面白いと感じたことなど所感をミニレポートにまとめて提出とする。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法： レポートはコメントを付けて学生にフィードバックする。						
授 業 計 画				準備学習(予習・復習等)		
				学習内容	学習に必要な時間(分)	
①オリエンテーション、子どもの家庭福祉とは何か				【予習】第1章を読む 【復習】①の復習	【予習】120分 【復習】120分	
②子ども家庭の定義と権利				【予習】第1章を読む 【復習】②の復習	【予習】120分 【復習】120分	
③子ども家庭の生活実態とこれを取り巻く社会環境				【予習】第2章を読む 【復習】③の復習	【予習】120分 【復習】120分	
④子ども家庭の生活実態と取り巻く社会環境(いじめ、虐待、DV、社会的養護等)				【予習】第2章を読む 【復習】④の復習	【予習】120分 【復習】120分	
⑤子ども家庭福祉の歴史(理念、児童理念の変遷、制度の発展過程等)				【予習】第3章を読む 【復習】⑤の復習	【予習】120分 【復習】120分	
⑥子ども家庭に対する法制度(児童相談所、児童福祉施設の種類、里親制度等)				【予習】第3章を読む 【復習】⑥の復習	【予習】120分 【復習】120分	
⑦子ども家庭に対する法制度(障害児支援、児童福祉制度に係る財源、最近の動向等)				【予習】第4章を読む 【復習】⑦の復習	【予習】120分 【復習】120分	
⑧子ども家庭に対する法制度(事例検討、児童虐待の防止等に関する法律)				【予習】第4章を読む 【復習】⑧の復習	【予習】120分 【復習】120分	
⑨子ども家庭に対する法制度(事例検討、DVの防止及び被害者の保護に関する法律)				【予習】第4章を読む 【復習】⑨の復習	【予習】120分 【復習】120分	
⑩子ども家庭に対する法制度(母子及び父子並びに寡婦福祉法)				【予習】第5章を読む 【復習】⑩の復習	【予習】120分 【復習】120分	
⑪子ども家庭に対する法制度(母子保健法、児童手当各法)				【予習】第5章を読む 【復習】⑪の復習	【予習】120分 【復習】120分	
⑫子ども家庭に対する法制度(売春防止法、子育て支援法、貧困対策の法律等)				【予習】第5章を読む 【復習】⑫の復習	【予習】120分 【復習】120分	
⑬子ども家庭に対する支援における関係機関と専門職の役割(自治体、各種センター等)				【予習】第6章を読む 【復習】⑬の復習	【予習】120分 【復習】120分	
⑭子ども家庭に対する支援の実際(事例検討)				【予習】第6章を読む 【復習】⑭の復習	【予習】120分 【復習】120分	
⑮まとめ				【予習】第6章を読む 【復習】⑮の復習	【予習】120分 【復習】120分	
使用テキスト： 最新 社会福祉士養成講座3 児童・家庭福祉 中央法規 第2版 978-4-8243-0155-0				その他参考文献など： 授業の中で適宜紹介する。		
受講上の留意点(担当者からのメッセージ)： 各テーマは重複する点があるので、配布した資料は毎回持参してください。						